

5 一般会計からの繰入状況

一般会計からの繰入状況は、第15表のとおりである。

当年度においては、収益的収入の営業外収益に補助金として16億5,142万円、資本的収入に出資金として11億700万円、補助金として5億7,343万円がそれぞれ繰り入れられ、総額で33億3,186万円となっている。収益的収入への繰入金の繰入率（経常収益に占める割合）は前年度から0.6ポイント低下し4.3%となっている。

繰入金の内訳をみると、最も金額が大きいのは、特例債元金分の償還金に係る補助金であり、営業外収益に13億9,842万円が繰り入れられている。また、地下鉄整備事業費の財源として、資本的収入に出資金11億700万円及び補助金5億7,343万円が繰り入れられている。

そのほか、本市では福祉施策として各種乗車料金軽減措置（敬老優待乗車証制度等）を行っていることから、この施策に伴う一般会計負担金18億7,067万円を営業収益（運輸収益）として受け入れている。

第15表 一般会計からの繰入状況

						(単位 千円)	
区 分		3 年 度	2 年 度	対 前 年 度 増 減 額	概 要		
営業外 収益	補助金 法17の3	地下鉄整備事業費分 A-2	77,228	91,127	△ 13,898	A 地下鉄整備事業費の財源として出資及び補助	
		特例債元金分 B-1	1,398,428	1,496,357	△ 97,928	-1 出資金	
		特例債利子分 B-2	1,568	4,413	△ 2,844	-2 補助金	
		その他の他分 C	174,197	165,214	8,982	<収益的収入>	
	収 益 的 収 入 計 (繰入率)	1,651,422 (4.3%)	1,757,112 (4.9%)	△ 105,689 (△ 0.6%)	<資本的収入>	緊急整備特別分・利子分 (77,228千円) 緊急整備特別分・元金分 (573,437千円)	
資 本 的 収 入	出資金 法18	地下鉄整備事業費分 A-1	1,107,000	1,423,000	△ 316,000	B 特例債元利償還金の補助	
		地下鉄整備事業費分 A-2	573,437	865,181	△ 291,743	-1 元金分 -2 利子分	
	補助金 法17の3	地下鉄整備事業費分 A-2	573,437	865,181	△ 291,743	C その他の補助	
		資 本 的 収 入 計	1,680,437	2,288,181	△ 607,743	児童手当の給付に要する所要額 (18,984千円) 基礎年金拠出金に係る公的負担に要する所要額 (144,900千円) 特別減収対策企業債利子補助金 (10,313千円)	
合 計		3,331,860	4,045,293	△ 713,433			
参 考	各種乗車料金軽減措置分（運輸収益）		1,870,679	1,683,676	187,003		
	うち敬老優待乗車証制度負担金		1,570,670	1,388,660	182,010		

(注) 法=地方公営企業法